

1 題材名 つくりだそう カラフルワールド

2 本題材で育成する資質・能力

- (1) カラーセロファンの形や色について、光を透したり、組合せたりすることで、明るさや質感などを分かり、手や体全体を十分に働かせ、再構成することができる。(知識及び技能)
- (2) 活動場所の条件に合わせて、カラーセロファンでどんなことができるか、発想や構想をするとともに、友達の作品から自分の作品との共通点や相違点を見付け、表現の工夫を捉えることができる。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) カラーセロファンを活用し、進んで表現しながら、場所の条件で再構成することに取り組み、自分がつくったものや、友達がつくったものの面白さや美しさを味わい楽しもうとする。(学びに向かう力、人間性等)

3 題材の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| カラーセロファン <small>の形や色について、光を透したり、組合せたりすることで、明るさや質感などを分かり、手や体全体を十分に働かせ、再構成している。</small> | 活動場所の条件に合わせて、カラーセロファンでどんなことができるか、発想や構想をするとともに、友達の作品から自分の作品との共通点や相違点を見付け、表現の工夫を捉えている。 | カラーセロファンを活用し、進んで表現しながら、場所の条件で再構成することに取り組み、自分がつくったものや、友達がつくったものの面白さや美しさを味わい楽しもうとしている。 |

4 題材について

(1) 題材観

本題材は、カラーセロファンの光を通す特徴を生かして、光と材料同士を組み合わせながら表したいことを見付け、形や色などの感じを捉えながら、思いのままに発想や構想を繰り返す、技能を働かせながらつくることができる。低学年では、教室内の造形遊びであったため、本題材では、場所との関わりから発想して造形活動を発展させる力を育むことができるようにするために、活動場所の条件を変化させる。自然光がある屋外から、暗い中でLEDライトを使用する体育館に変化させることで、新しい見方や感じ方でカラーセロファンを捉え、造形活動を発展させる力を育むことができる題材である。

(2) 児童観

本学級の児童は、1学期に行った「長い紙つくって」の授業後のアンケート(令和元年*月*日実施、第3学年*組*人複数回答可)の結果から、新聞紙を長く切った後に、教室の床や廊下という場所を生かした活動を自ら考え、発想する児童は*人中*人であった。また、造形遊びをする活動における実態から、材料を目の前にして活動が進まず止まってしまうたり、思うようにいかないと、そこで活動をやめてしまったりする児童が*人いた。これらの結果から、材料や場所との関わりから発想し、新しい視点で新たな活動へと発展することができない児童がいることがわかった。このことから、多様な材料や場所との関わりから、発想を広げる手立てが十分でなかったために、発想したことから造形活動を発展させる力が培われていないと考える。

(3) 指導観

本題材では、表現活動の学習過程に段階的な活動場所の設定をする。発想や構想をより引き出せるように教室→外→体育館と活動場所の条件を変化させる。教室は、初めて出会う材料のセロファンに十分に触れ、色や形、質感を感じ取りながら一人一人が活動のイメージを膨らませる環境に適している。次にそのイメージを具現化するために、広い空間と太陽光を組み合わせることができる外に移動して活動

する。その後、体育館ステージの自然光を遮った暗い空間とLEDライトの光を組み合わせた場で、作品を再構成できるようにする。また、ICT機器を利用した相互鑑賞を位置付け、児童が活動の過程を記録したり、活動の過程を鑑賞したりするためにタブレットPCを活用する。場所や環境が変化すると共に自分の活動が変化していったことや、友達の作品のよさを知ったりすることで、次時の活動に生かせるようにする。さらに、活動終了後の作品だけでなく途中で生まれた発想や工夫を相互鑑賞することで、学びの過程の大切さを実感することにつながる。以上のような手立てを講じることで、材料や場所との関わりから発想して造形活動を発展させる力を育むことができると考える。

5 学習の計画と評価（4時間扱い）

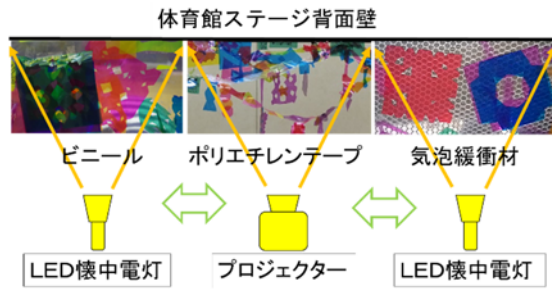
| 次時 | 学習内容・活動 | 指導上の留意点(◎評価)【評価方法】 |
|-----------------|---|---|
| 1 1 (15分) | <p>○既習事項を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙の造形遊びで、どんな活動をしたか発表する。 ○カラーセロファンでどんなことができるかを考える。 <p>カラーセロファンで、どんなことができるかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーセロファンと出会い、形や色、触った感じからどんなことができるかを考え思い付く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の新聞紙の活動で、どんな活動をしたかを喚起し、身に付いた技能を活用できるようにする。 ・材料のカラーセロファンと十分に触れさせ、新聞紙との比較をし、カラーセロファンの形や色、質感を知り、思い付くことやどんな造形的な活動をするかを考えられるように教室での活動とする。 |
| 2 2 (75分) | <p>カラーセロファンを使って、3つの場所でカラフルワールドをつくりだすには、どんなことができるかな？</p> <p>○3つのグループに分かれ、屋外でカラーセロファンと①②③の組合せを試す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15分活動→5分鑑賞（タブレット型PC記録）を3回行う。 ・面白さや美しさを感じた作品や活動をタブレット型PCで記録を撮る。 ・カラフルワールドを鑑賞し、よさを共有する。 <p>いろいろな方法を試したり、組み合わせたりするとカラフルワールドができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに本時の振り返りをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・屋外に移動し、3つのグループに分かれ、カラーセロファンと①②③の組合せを試せるようにする。 ・思い通りにいかずに活動が止まってしまう児童には、材料コーナーを知らせたり、場所を移動するように促したりして、新たな発想に気付く、表したいことを表すことができるようにする。 ・児童自身がタブレット型PCで記録を撮ることで、自分の表した学習の過程に気付けるようにする。 ・タブレット型PCで自分の作品を撮るだけでなく、全体の様子や友達の作品を鑑賞し、撮影タイムを設定することで、次の活動の発想に生かせるようにする。 <p>◎表したいものになるように、カラーセロファンをビニールやポリエチレンテープに貼ったり、重ねたり、いろいろ試しながら表している。(知識・技能)【活動観察、ビデオ記録分析】</p> <p>◎表したいことや表し方などについて、発想や構想をしている。(思考・判断・表現)【活動観察、ビデオ記録分析】</p> |

3
本時
(4
5分)

目標：場所と条件が変化したことから、どんなことができるかを発想や構想し、カラーセロファンを再構成し、造形活動を発展することができる。

- ・教師の紹介する友達の作品を鑑賞し、自分では気付けなかった表し方を知る。

外でつくったカラフルワールドから、ライトを使って体育館カラフルワールドをつくるには、どんなことができるかな？



- ・屋外で試したものを体育館ステージの暗い空間に設置することで、新たな視点を持ち、活動や作品を再構成する。
- ・ライトを透したカラーセロファンの光の面白さや美しさをタブレット型PCで記録を撮る。

場所と条件を生かして、カラーセロファンをつくり、つくりかえるとカラフルワールドができる。

- ・外の活動で記録した自分のタブレット型PCを鑑賞し、活動を振り返ることができるようにする。
- ・屋外で撮影した児童の画像をプロジェクターで映して紹介し、児童が本時の活動の発想に生かせるようにする。
- ・屋外で試したものを体育館ステージに設置することで、新たな視点を持ち、活動や作品を再構成することができるようにする。
- ・タブレット型PCで撮影タイムをとることで、自分の作品だけでなく全体の作品や友達の作品を鑑賞し、自分の発想に生かすことができるようにする。

◎新たな視点を持ち、カラーセロファンとLEDライトを組み合わせることで、表したいことや表方などについて発想や構想をしている。(思考・断・表現)【活動観察、ビデオ記録分析】

◎進んで活動したり表現したりしながら、自分がつくったものや、友達がつくったものの面白さや美しさを鑑賞する活動に取り組もうとしている。(主体的に取り組む態度)【活動観察、ビデオ記録分析】

- ・仕上がったカラフルワールドから自分や友達の作品の面白さや美しさを感じとることができるようにする。

3
4
(4
5分)

カラフルワールドで、思い付いたことや、よかったことは何か？

- ・記録したタブレット型PCを使って相互鑑賞をする。
- ・自分の活動や作品の説明をしたり、変化を知ったりする事でたくさんの発想や構想ができたことに気付く。
- ・友達の活動や作品を鑑賞し、よさを共有する。

場や条件を生かして、何度もつくり、つくりかえたことで、カラフルワールドができたことがよかった。

- ・ワークシートに本時の振り返りをする。

- ・タブレット型PCに記録された撮影した写真を見ることで、これまでの自分の活動や作品を説明しやすいようにする。

- ・自分や友達の活動や作品などから見方や感じ方を広げるように助言する。

◎自分や友達の活動や作品の変化を知り、たくさんの発想や構想や、よさを感じ、味わっている。(思考・判断・表現)【タブレット型PC記録、ワークシート】